



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

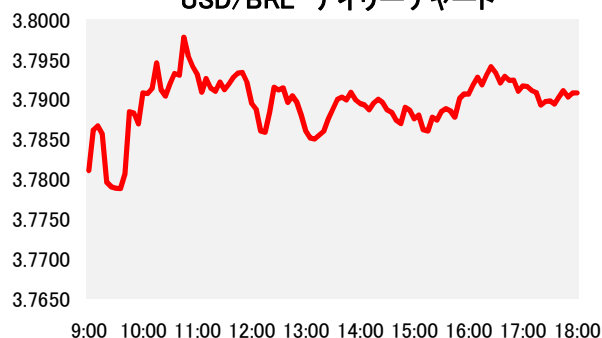
			7月24日	7月25日	7月26日	7月29日	7月30日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7740	3.7790	3.7780	3.7810	3.7910	+0.0100
	BRL/JPY	Spot	28.660	28.750	28.76	28.77	28.65	-0.12
	EUR/USD	Spot	1.1141	1.1147	1.1128	1.1145	1.1155	+0.0010
	USD/JPY	Spot	108.15	108.65	108.68	108.78	108.61	-0.17
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	5.538	5.552	5.535	5.525	5.509	-0.016
	Future	1Year(p.a.)	5.385	5.422	5.405	5.408	5.398	-0.010
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.686	2.661	2.631	2.822	2.625	-0.197
	USD	1Year(p.a.)	2.422	2.457	2.420	2.612	2.543	-0.069
株式	Bovespa指数		104,119.60	102,654.60	102,818.90	103,482.60	102,932.80	-549.80
CDS	CDS Brazil 5y		126.28	125.28	125.28	124.89	126.70	+1.81
商品	CRB指数		178.222	177.884	177.158	177.799	178.344	+0.54

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレーション(前月比)	0.53%	0.40%	0.80%
FGVインフレーション(前年比)	0	0	0
(米)PCEコアデフレーター(前年比)	1.70%	1.60%	1.50%
(米)コンファレンスボード消費者信頼	125.00	135.70	124.30

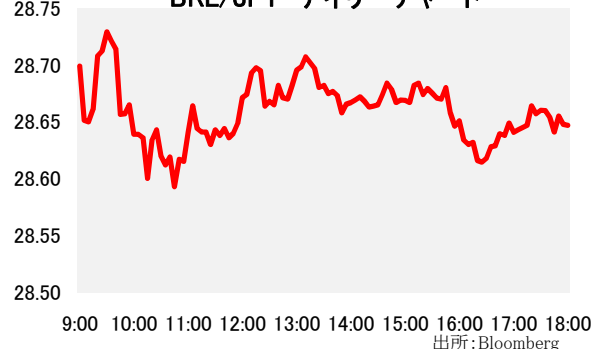
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

米トランプ大統領	(中国による米国産農産物の購入をめぐり)「中国は米国をだまし続けている」
----------	--------------------------------------

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは続落。国内外で目立った材料を欠き、レアルは終始方向感なく推移した。レアルは3.7810で寄り付いた直後に日中高値となる3.7770を付けたものの、早朝にトランプ大統領が中国との通商問題に関連して同国を批判したことが嫌気されると、次第に売りが広がり日中安値3.7980まで下落。その後は明日にFOMCの結果発表を控え、次第に様子見ムードが強まるなか方向感なく推移し、結局3.7910でクローズした。
- 米トランプ大統領は米中両国が30日に3か月にわたる中断を経て通商交渉を再開した矢先に、中国が米国の農産物の購入に消極的であるとし、米国を「だまし続けている」と不満を表明した。続けて、「中国側はまったくひどい。過去27年間で最悪だ。米国の農産物を現時点で購入し始めているはずだったのに、そうする兆しは一切ない」、「中国の問題点は約束を果たさないことだ」と中国に対する批判を公然と展開した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。